
ハイスクールD × D ~ 黄昏の転生者 ~

永劫破壊

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ハイスクールD×D〜黄昏の転生者〜

【Nコード】

N5420BA

【作者名】

永劫破壊

【あらすじ】

男は死んでしまい気が付くと当たり一面、真っ白な空間だった。その空間で自分のことを神様と言う少年に出会った。少年は言う。

「僕の作る物語の主人公にならないか？」

これはハイスクールD×Dの二次創作です。

素人の処女作なのであまり期待はしないでください。

プロローグ

ある日の夏の日、俺は死んだ。

「はずなんだよなあ……」

そう、俺は死んだはずなのだ。

それが気が付いたらあたり一面、真っ白な変な場所に突っ立てた。

「さて、どうして「やあ、こんにちは」——ッ!？」

瞬きほどの一瞬でいきなり十歳くらいの少年がこう：パツと現れた。

「お前…なんなんだ？」

「僕？ 僕は……そうだなあ君達気に言うならば神様って所かな。

まあ正直ぜんぜん違うんだけどね、そんな感じってだけのことだよ。
僕はくモノガタル>

物語を物語るだけの存在さ。」

……？

「意味わかんないって顔だね、まあそうだね解んでもいいんだよ。

解んないんだからこそ僕は神様だって言っただけから。」

「……まあいいや、それで？ その神様が俺に何のようなんだ？」

「君には今から僕が物語る物語の主人公になって欲しいだけさ。君のメリットはもう一度生を受けられる。」

僕のメリットは君が主人公ならばきっと面白い物語になると思うんだ、だからそれが僕のメリット。

君は自由に、君の思うままにすごしてくれればいいんだよ。

それこそが僕の求める君の物語なんだから」

…まあそれはいい、それよりも。

「なぜ俺なんだ？ もっと適任なのはいっぱい居るだろう？」

「しいて言うならばなんとなくさ！！ それ以外に…いや、それ以上になんか理由が必要かな？！」

「……分かった、行くよ」

「ありがとう！ さて、今から君が転生する世界は結構命の危険があったりするからね、結構強い力を、君にピッタリの力を上げるよ」

「命の危険って…俺はどんなところに行くんだ」

「それは秘密さ……さあイってらっしゃい。いい人生を」

そして、俺の新しい人生が始まった

プロローグ（後書き）

感想と修正点をもらえるとうれしいっス

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5420ba/>

ハイスクールD×D～黄昏の転生者～

2012年1月14日22時52分発行